

2023年8月3日
 近鉄不動産株式会社

あべのハルカス美術館 展覧会

「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」

「あべのハルカス美術館開館10周年記念 広重 一摺の極一」開催決定！

あべのハルカス美術館では、日本美術や西洋美術、現代アートなど多彩な展覧会を開催しています。

2023年度後半は9月16日（土）から11月12日（日）まで「安野光雅展」、11月23日（木・祝）から2024年1月21日（日）まで「コシノジュンコ 原点から現点」、2月2日（金）から4月7日（日）まで「あべのハルカス美術館開館10周年記念 円空一旅して、彫って、祈って一」を開催予定です。（既報のとおり。詳細は別紙参照）

上記の展覧会に続き、2024年度に「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」「あべのハルカス美術館開館10周年記念 広重 一摺の極一」の開催が新たに決定しましたのでお知らせいたします。

「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」

会 期：2024年4月27日（土）～6月23日（日）

共 催：徳川美術館、読売新聞社

開催趣旨：徳川家康の九男・義直（1600～50）によって創始された尾張徳川家は、名古屋城を居城とした大大名で、紀伊徳川家・水戸徳川家とともに御三家の一つに数えられていました。徳川美術館は、その尾張徳川家に伝えられた大名道具を有しており、その所蔵品は家康の遺品「駿府御分物」をはじめ、歴代当主や夫人たちの遺愛品など一万件余りにのぼります。

本展では、数ある名品の中から、甲冑や刀剣など武具のほか、茶道具や香道具、能道具、婚礼調度、書画などを通して、尾張徳川家の歴史と華やかな大名文化をご紹介します。現存最古の源氏絵である国宝「源氏物語絵巻」と、三代将軍家光の長女千代姫が尾張徳川家に嫁ぐ際に持参した国宝「初音の調度」という、同館コレクションの精華というべき存在であり、日本を代表する名品も特別出品されます。



①銀溜白糸威具足
17世紀



②国宝 初音蒔絵旅櫛箱
寛永16年(1639)



③ 国宝 源氏物語絵巻 宿木(三)
12世紀

「あべのハルカス美術館開館10周年記念 広重 一摺の極一」

会 期：2024年7月6日（土）～9月1日（日）

共 催：NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿、朝日新聞社

開 催 趣 旨：広重は、北斎とともに浮世絵版画の世界に風景画と花鳥画のジャンルを確立したことで高い評価を得ています。国民的な浮世絵師ともいえる知名度と人気を誇る広重ですが、大規模かつ総合的な展覧会は近年開催されていません。そこで、初期から晩年までの画業を総覧し、広重作品のすばらしさを再確認していただくとともに、あまり知られていない魅力的な作品を紹介し、広重のトータルなイメージを再構築いたします。



④名所江戸百景 大はしあたけの夕立
大判錦絵
ジョルジュ・レスコヴィッチ氏蔵
©Fundacja Jerzego Leskowicza
©Michal Grychowski (AMG)



⑤東海道五拾三次之内(保永堂版) 庄野
横大判錦絵
ジョルジュ・レスコヴィッチ氏蔵
©Fundacja Jerzego Leskowicza
©Michal Grychowski (AMG)

※上記①～⑤の画像データは貸出が可能です。ご希望の方はお問合せください。

また、事前に原稿の確認が必要になります。

(画像の使用は、本展覧会をご紹介いただく媒体に限ります。ご使用後は破棄をお願いします。)

※開催1ヶ月前を目処に詳細なプレスリリースを皆様のもとへお送りします。

あべのハルカス美術館 2023年9月～2024年9月 展覧会ラインアップ

	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
展覧会名	安野光雅展		コシノジュンコ 原点から現点			あべのハルカス美術館開館10周年記念 円空一旅して、彫って、祈って		徳川美術館展 尾張徳川家の至宝			あべのハルカス美術館開館10周年記念 から 広重 一摺の極一		
会期	2023年9月16日(土) ～ 11月12日(日)		11月23日(木・祝) ～ 2024年1月21日(日)			2月2日(金) ～ 4月7日(日)		4月27日(土) ～ 6月23日(日)			7月6日(土) ～ 9月1日(日)		

【詳細】

安野光雅展

会 期：2023年9月16日(土)～11月12日(日)

共 催：朝日新聞社、関西テレビ放送

開催趣旨：島根県津和野町に生まれた安野光雅(1926-2020)は、半世紀以上にわたり画家、絵本作家、装丁家として多彩な活躍を続けました。その独創的な作品は国内外の高い人気を得ています。

本展では、絵本のデビュー作『ふしぎなえ』から、近年の大作『繪本 三國志』まで、やさしく、美しく、ユーモアと不思議にあふれた安野ワールドを紹介します。



旅の絵本VI デンマーク編 コペンハーゲン(ニューハウン)
2004年 津和野町立安野光雅美術館蔵 ©空想工房

コシノジュンコ 原点から現点

会 期：2023年11月23日(木・祝)～2024年1月21日(日)

共 催：毎日新聞社、MBSテレビ

開催趣旨：大阪・岸和田に生まれたコシノジュンコは、1960年に新人デザイナーの登竜門とされる装苑賞を最年少で受賞、以後東京を拠点にファッションデザイナーとしての活動をスタートさせます。世界各地でショーを開催し高い評価を得る一方、近年では服飾デザインの領域を超え新たな境地を切り開いています。本展は、常にモードの先端を走り新たな創造を繰り広げるコシノジュンコの活動の全貌を紹介する過去最大規模の展覧会です。衣装やデザイン画、写真パネルなど約200点からその魅力に迫ります。



コシノジュンコ 原点から現点
メインビジュアル



コシノジュンコ



Spike Dress 2010年

あべのハルカス美術館開館10周年記念 円空一旅して、彫って、祈って一

会 期：2024年2月2日(金)～4月7日(日)

共 催：NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿、朝日新聞社

開催趣旨：修行の旅に人生を捧げ、人々のために祈りを込めて仏を彫った円空。生涯に12万体の神仏を造る誓願を立てたといわれ、飛神の剣のようにノミを振るい、神仏を彫り続けました。謎の多い一生ですが、その生きた証として、優しく微笑む観音像、迫力に満ちた護法神像など、今も5千体を超える神仏の像が伝わり、人々に愛されています。本展では初期から晩年までの代表作により、創造の足跡をたどります。



狛犬 岐阜 千光寺
画像提供：東京国立博物館
Image: TNM Image Archives



りょうめいずくざ
両面宿儺坐像 岐阜 千光寺
画像提供：東京国立博物館
Image: TNM Image Archives



柿本人麿坐像 岐阜 東山神明神社
画像提供：東京国立博物館
Image: TNM Image Archives

【開館時間】

火～金： 10:00 - 20:00
月土日祝： 10:00 - 18:00
*入館は閉館30分前まで

【休館日】

一部の月曜日、年末年始
展示替え期間(不定期)
*展覧会により休館日は異なります。

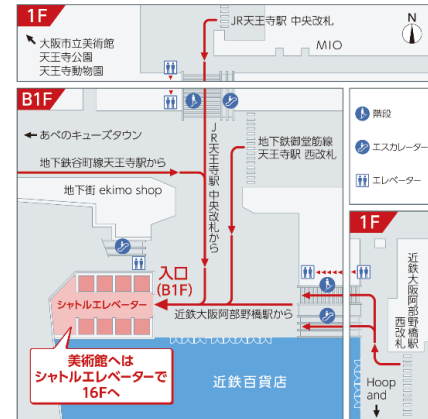
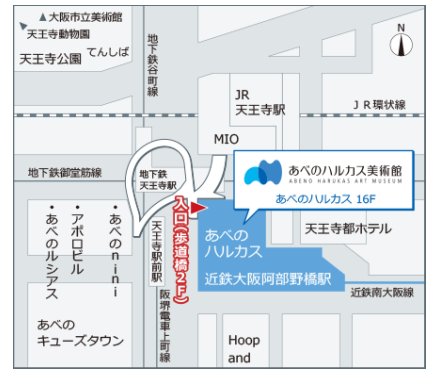
【所在地】

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階

【最寄駅】

近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅 直上
JR各線「天王寺」駅
Osaka Metro御堂筋線「天王寺」駅
Osaka Metro谷町線「天王寺」駅
阪堺上町線「天王寺駅前」駅 よりすぐ

【アクセス】



以上